

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		公民館運営事業						予算事業名		公民館運営事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	教育基本法第12条, 社会教育法第5条三・六・七・十二, 第20条, 第22条			
				10	05	04	2002	経常経費					
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ①自ら学ぶ機会の充実 2市民講座の開設						事業の区分		主要事業 重点事業 生涯学習課 公民館係			
								担当課係等					
事業期間		継続 (昭和50年度～令和 2年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
市民各自のライフスタイルがあり, 健康で生き生きとした生活がおく れるため, 様々な分野の市民講座を開設することにより, 参加した者 たちが, 学ぶ喜び, 学んだことを生かす喜び, 趣味として自分の生き がいを感じるように市民講座を開設する。						市民誰もが, 気軽に, 興味を持つような事柄を実施し, 受講した人が 生涯学習として勉強出来るきっかけづくりをできるようにする。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
公民館(市民)講座の開設 ①子育て(子どもとのふれあい)講座 ② 健康な身体づくり講座(体操・料理) ③趣味の講座 ④教養講座 ⑤子どものための夏休み講座 ⑥公民館祭の開催						広く市民に対して							
						【事業をとりまく環境の変化】 趣味や教養の向上を目的とした講座や健康な身体づくりのための体操 講座は, 高齢者の女性の参加率が高くなっているため, 参加者の少な い青年や男性向けの講座も開催, ターゲットを変えて, 講座の充実を 図る必要がある。							
【令和 2年度 事業内容】			【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】							
・公民館講座の内容の充実 ・目的をはっきりとした講座の計画及び実 施(男性及び若者を引き付ける講座を企画 し, 実施する) ・公民館を利用するサークルの円滑な運営 と, 利用サークルと一体となった「公民館 祭」の開催			・公民館講座の内容の充実 ・目的をはっきりとした講座の計画及び実 施(男性及び若者を引き付ける講座を企画 し, 実施する) ・公民館を利用するサークルの円滑な運営 と, 利用サークルと一体となった「公民館 祭」の開催			・公民館講座の内容の充実 ・目的をはっきりとした講座の計画及び実 施(男性及び若者を引き付ける講座を企画 し, 実施する) ・公民館を利用するサークルの円滑な運営 と, 利用サークルと一体となった「公民館 祭」の開催							
■事業費													
				H30年度		R01年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般		財	源	633	703					
歳入計(千円)				633		703							
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)						
	08	報償費			629		699						
	11	需用費			4		4						
歳出計(千円)(A)				633		703							
伸び率(%)						11.05							
備考	総合計画119ページ 予算書173ページ												

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	講座開講数	講座	目標	20.00	20.00	20.00
	広く市民に対し、様々な分野の講座を実施する。		実績	20.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	講座参加者数	人	目標	1,500.00	1,650.00	1,650.00
	市民講座に参加した延べ人数		実績	1,649.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	社会教育法に、定期的な講座の開設がうたわれており、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公民館の目的として住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うとある。(社会教育法)
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	市民のニーズを把握し、市民が関心や興味を持つ講座の実施に向けた調査研究が必要である。参加者数の多少にとらわれず市民生活に有益な講座の実施も必要である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	生涯学習指導員が講師や関係機関と連携し、コスト的にも効率的に実施されている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	講座参加者は、公民館活動に興味がある市民や中高年の女性の参加が多い傾向である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	子育て関係の講座は、毎年少しずつ内容を内容を変えたり、夏休みの企画講座は定着し、参加者から要望されている講座も多い。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	土曜日の講座の実施や、男性向け講座の実施などを企画し、あまり公民館に来ていない年齢層の参加を図っている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
講座の内容により参加者の少ない講座などがある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民はどのような講座を望んでいるのか。そのニーズの把握や講座の企画・検討など、県西地域の公民館や小山市の公民館と情報交換しながら調査研究していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民のニーズに合わせた講座となるよう、実施内容の検討を行いながら推進していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。